

質 疑 要 旨

谷内律夫議員 No. 1

質 疑 要 旨	要 答 弁 者
<p>1 学校給食について 地元産食材の学校給食への採用は、供給の安定化や地域の農漁業の振興、食育の観点から有用と考えるがどうか。</p>	教 育 長
<p>2 住民アンケートに基づく子育て応援・高齢者支援について (1) 子育てにかかる経済的負担への支援拡充を求める声が多くあるが、子育て支援に対する思いを聞く。 (2) 高齢者やその家族の多くは認知症への不安を抱えており、速やかに対応策を推進すべきと考えるがどうか。 (3) デジタルに不慣れな高齢者などを支援するため、スマートフォンの利用方法などの助言・相談を行ってはどうか。</p>	知 事 総 務 部 長 健康福祉部長
<p>3 ひきこもり支援について 関係機関による地域支援ネットワークを構築しつつ、県内の実態掌握をしたうえで支援をすべきと考えるが、ひきこもり支援に対する意気込みを聞く。</p>	知 事 健康福祉部長
<p>4 精神障害者の福祉医療について (1) 精神障害者の医療費助成制度を拡充すべきと考えるがどうか。 (2) 今年実施する障害者福祉アンケート調査では、関係団体の意見を内容に取り入れた上で、実態をより掌握し、障害者の支援策が充実するよう取り組むべきと考えるがどうか。</p>	知 事 健康福祉部長
<p>5 デジタル障害者手帳について スマートフォンによるデジタル障害者手帳を県有施設などで使えるよう対応し、利用拡大を推進すべきと考えるがどうか。</p>	知 事 健康福祉部長
<p>6 性的マイノリティ、LGBTQへの支援について (1) 正しく理解し、誰もが自分らしく生きることができる社会を目指し、専門家や当事者から話を聞く研修会の開催や知識を高める取り組みを行うべきと考えるがどうか。 (2) 当事者の交流場所や悩みの相談対応も必要と考えるがどうか。</p>	知 事 総 務 部 長

この質疑要旨は5月31日午後4時40分に取りまとめたものです。

質 疑 要 旨

谷内律夫議員 No.2

質 疑 要 旨	要 答 弁 者
<p>7 がん患者のウィッグ等購入支援について 病気で苦しむ患者の負担を減らすため、医療用ウィッグなどの購入に対する助成制度を導入してはどうか。</p>	<p>知 事 健康福祉部長</p>
<p>8 自販機リサイクルボックス内の異物混入問題について (1) 異物処理費用の急増により、自販機事業者や中間処理業者は厳しい経営状況となっているが、どのように認識しているのか、また、支援策が必要と考えるがどうか。 (2) 異物混入をゼロとすべく、具体的な対策を早急に実施すべきと考えるがどうか。</p>	<p>知 事 生活環境部長</p>
<p>9 災害対策について (1) 本県でも、災害派遣福祉チームが発足されているが、自然災害時における福祉支援体制の更なる強化に向けた取り組みを聞く。 (2) 奥能登の群発地震への対策と不安な日々を過ごされている方々への激励のメッセージを聞く。</p>	<p>知 事 危機管理監 健康福祉部長</p>

この質疑要旨は5月31日午後4時40分に取りまとめたものです。